



学校だより

令和3年9月1日

ひびき

9月号

昭和54年3月3日制定

横浜市立獅子ヶ谷小学校

新しい学びのかたち

校長 大塩 啓介

夏休みも終わり、児童の声が学校に帰ってきました。しかし、この夏休みは複雑な思いの休業期間でした。オリンピックが開催され、アスリートの頑張る姿に、心打たれるものがありました。一方で、新型コロナウイルスの猛威は勢いを増し、感染状況は悪化の一途をたどっています。ワクチン接種が進んでいるとはいえ、今後、この影響がどのような事態を引き起こしていくのか、心配なところです。

夏季休業に入る前にも学校行事に関する変更をお伝えしておりますが、昨今の感染状況を踏まえ、更に変更いたしました。5年生の子浦宿泊体験学習は、場所を上郷に替えた上で延期いたしました。また、6年生の日光修学旅行説明会も来月に延期いたしました。これ以外にもまだまだ運動会など予定されている行事がございますが、感染状況によっては予断を許さない状況です。

現在、流行の中心となっているデルタ株と言われる変異株のウイルスは、以前のウイルスに比べ、子供への感染力が強くなっていると言われております。学校の学習活動も今後更に感染対策による制約がかかってくることとなります。手洗い、マスクの徹底はもちろんですが、対面による話し合い活動や、学習の成果を見合ったり聞き合ったりといった活動も行いにくくなります。また、体育でもまだ暑い日が続きます。マスクをとって行うため、ましてマスクをとった状態で呼吸が荒くなる活動はできません。給食中の黙食の徹底も更に必要になります。

学校からの連絡や報道等でご存じのように、しばらくは分散登校となります。また、文部科学省からは学校における休校や学級閉鎖に関する基準もでてきました。児童の感染状況によっては様々な措置が考えられてきます。この休業期間中にリモート学習を行っていくこととしました。ただ、いきなりできるわけではなく、先生も児童も慣れが必要になります。また、横浜市が整えた学校の通信環境も、一斉に動かしていく中でどのようなトラブルが生じるのかわかりません。実施できる教科や学習方法も限られてきます。しかし、今後の状況変化に対応していくために、様々な方法を用意しておくことは非常に大切なことであると思います。今回は児童の半分ずつに分かれてリモート学習を体験することとなります。その状況を踏まえ、また改善に努めていきます。

この先、どのようなことが生じ、どんな影響が出てくるのか分かりません。しかし、一つ一つ、進むところは進んでいきます。ネガティブにとらえず、生じた出来事に対してプラスにとらえてできることを着々と進めてまいりたいと思います。